



# 『温度』が低いところ・温度差の大きいところは結露しやすい

住まいの中に温度の低い部分を作らないことも結露防止の重要なポイント。  
住まいの温度を快適に安定させるには、住まい全体の断熱化が効果的です。

こんなところは温度が低く、温度差が大きくなりやすい!

## 窓枠や窓ガラス、玄関ドア

**どうして** 外気に冷やされて温度が低くなりやすいので結露が発生しやすい。

**解決方法** 断熱性が高い材料を選ぶ

例【窓】

●ガラス

…一枚ガラス→**複層ガラス**

●枠…アルミ→**樹脂\***

また、お部屋全体を暖めると、窓や壁も暖められて温度が上がります。



※樹脂はアルミに比べ熱伝導率が **1/1000**

## 家具の後ろや押し入れ

**どうして** 空気が流れず、こもりやすいので温度が低くなり結露が発生しやすい。

**解決方法** 壁と家具に隙間をつくる

壁と家具の間にすきまをつくって、空気の流れを作りましょう。  
押し入れ収納品の下にはすのこ等を敷いてすきまをつくり、通気するのも効果的です。



## 暖房をしていない寒い部屋

**どうして** あたたかい部屋から冷えた部屋に湿気が流れ込むと、温度差によって結露が発生。

**解決方法** 住まい全体の断熱性を上げる

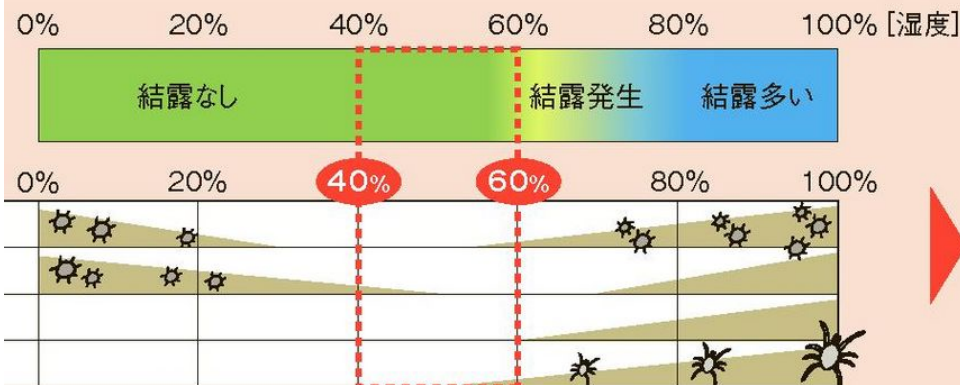
住まい全体の断熱性を上げることが一番の対策です。魔法瓶のように保温され、住まい全体の温度が下がりにくくなります。

また、暖房をしていない部屋では湿度の上昇に注意して、除湿を心がけましょう。



湿度をコントロールすると結露だけでなく、ダニやカビの抑制にも!

※数値は、ガラス性能に基づく参考値です。  
結露抑制効果を保証するものではありません。  
また、フレームが断熱されていない窓では、フレーム部分が結露する可能性があります。



出典: ASHRAE (アメリカ暖房冷凍空調学会) 1985年報告

お部屋の  
最適な湿度は  
**40~60%**